

はいしゃ

広島県立呉特別支援学校

小学部第2学年 江見 真結

「はいしゃ」

つちやせんせいは りんかちゃん（先生の子ども）と はいしゃに 行って りんかちゃんが なくて せんせいが わらったよ。わたしは おこったよ。

つちやせんせいは わたしに
「ないてるのを わらっては いけません」
と おこられたよ。

がっこうで ともだちが なかもとせんせいと おくちのたいそ
うのとき ないたよ（いやがった）。

わたしは たのしくなって わらったよ。

ほりうちさん（看護師さん）が わたしに
「ないてるのを わらっては いけません！」と おこりまし
た。わたしは おこられました。

つちやせんせいが はいしゃに 行って いたくて ないたよ。
わたしは わらわなかったよ。

わたしは はいしゃに いったよ。

わたしは いたくなかったよ。たのしかったよ。

< 指導者の言葉 >

児童はコミュニケーション用のお話ボード(写真カードと文字, ひらがな46音表)の中から伝えたい言葉を指差しして, 自分で順序立ててお話をします。児童が指差す言葉を教員が言語化し, やりとりをしています。

先生の子どもが歯医者に行った話, 学校での話, 先生が歯医者に行った話, 自分が歯医者に行った話は同日の会話ではなく, 別々の日に会話をしています。それを自立活動の時間に一緒にまとめて作品ができました。

入学当初, 児童は相手の言葉を聞き, 首を振って「はい」「いいえ」で示したり, ジェスチャーで答えたりしてやりとりをしていました。伝えたい言葉をうまく表現できない時, 伝えることをあきらめる姿もたくさんありました。

1年生の後期から自分の思いを伝える手段としてお話ボードを活用しはじめ, 「だれが」「何をした」と簡単な文を伝える練習をしました。今では「だれと」「どこで」「何をした」「どう思った」等, ジェスチャーだけでは伝わりにくかった内容を自分から相手に伝えることができるようになってきました。登校後すぐ, 自分からボードを指差し, 会話を楽しんでいます。

自立活動の時間に主に取り組んだ内容は以下のとおりです。

- ・ 友達の名前の文字並べ(友達の名前に興味があったため)
- ・ ひらがな表46音の中から絵に合う言葉を探してポイントイング
- ・ 影絵さがしや間違いさがし(「あ」「お」など似た文字を間違えることが多かったため)

ボードにない言葉はひらがな46音表の中から指差し, 自分の思いすべてを伝えることができる日を目指して, 毎日学校で先生や友達や看護師を呼び止めて, ボードの言葉をつなげてお話をしている生き生きとした様子が伝わればと思います。

